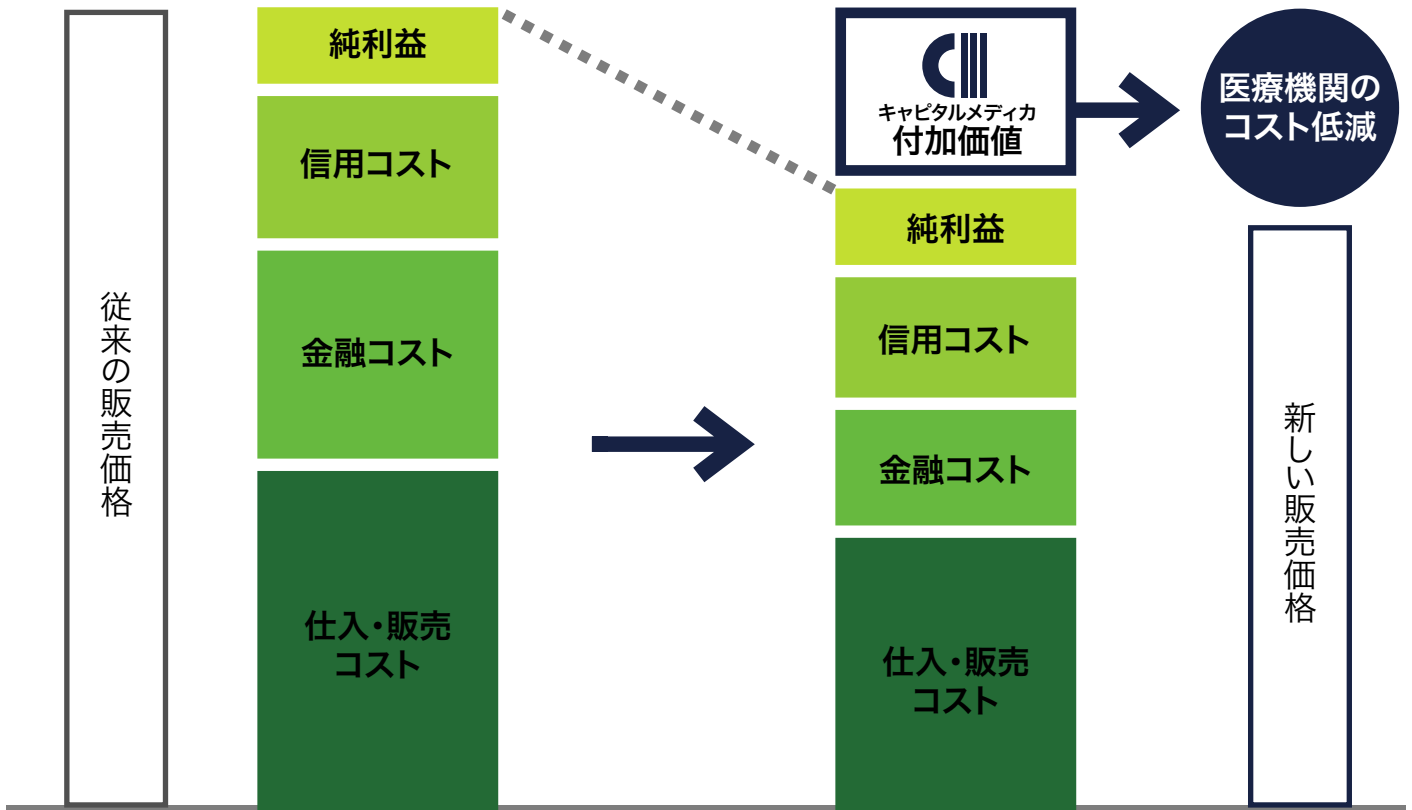




医薬品・医療材料の調達

医療機関においては医薬原価の削減を実現。一方、納入事業者においても、取扱金額の増加や信用リスクの低減を図ることが可能となるなどのメリットを享受できる仕組みになっています。



■貸倒リスク(=貸倒引当金)

■仕入・販売コスト差による運転資金金利

■運送費用・人件費・メーカーからの調達費用

■キャピタルメディカを介することによる信用リスクの低減(=引当金戻入)

■売掛サイトの短縮による金融コストの低減

■調達方法の見直しによるメーカーからの調達価格低減